

畜産業におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13~14	自社作業場で、白砂の石を除去する作業の準備をしていた。作業場の雨よけのスレートを除けようとした際、足を踏み外して、そのまま1.5m下へ落下した。普段は1人でする作業のため、カバーとしているスレートを引っ張るだけなので、すき間を意識することはない。今回はたまたま2人で作業したため、すき間の存在を忘れて移動してしまい、足を滑らせた。	64	1~9
2	8~9	新規農場の立ち上げ準備中、農場に出向いたところ、豚舎資材置場の横を通りかかった際に突風が吹き、パイプが落ちてきて首を直撃した。パイプ・・・自動給餌の餌ライン（餌の筒）、直径3.8cm。	33	1~9
7	10~11	ストール舎のオス豚房を掃除中、餌を食べていたオス豚が人の気配に気づき近寄ってきたため、逃げようとした時に右手が扇風機に当たり、怪我をした。当日はそのまま作業をしたが、翌日より痛みと腫れがひどくなってきたので病院へ行った。	20	10~29
12	17~18	舎内にて、ビニールを張る作業中、立てかけていた換気扇（動いてはいない）をずらそうとして倒れてしまい、その際、右足のくるぶしあたりにあたってしまい、その箇所を後日、病院で診察を受けたところ、右足のくるぶし付近の骨折及び靭帯損傷と診断された。	75	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html